

R 豊かな心はぐくみプラン

○ 目標

- ・常陸太田の自然や伝統的な行事，生活習慣等を学ぶ機会を充実し，郷土愛をはぐくむ。
- ・外国の文化や生活に慣れ親しむ活動を充実し，国際理解に努める。
- ・自他の生命を尊重し，友だちを思いやる心の育成に努め，社会に貢献しようとする心をはぐくむ。

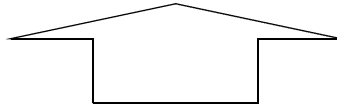
☆ 本年度のマニフェスト

人・もの・自然との関わりを通して，将来の夢に向けて努力する子どもの育成に努めます。

- ・心の教育を総合単元的に取り組み，家庭・地域と連携しながら道徳的な実践力を育成します。
- ・みんなにすすめたい一冊の本（市内全小学校） 50冊以上達成者70%以上
推進事業を推進します。（市内全中学校） 30冊以上達成者17%以上
- ・家庭や地域と連携して，みんないっしょにマナーアップ推進事業に取り組みます。
- ・市子ども人権スローガンの下，人権感覚や人権意識をはぐくむ活動を展開し，いじめ等をなくす取組を充実します。

不登校出現率0.5%以内を目指します。

- ・子ども一人一人とのコミュニケーションを大切にして，小さなサインを見逃さないようにします。
- ・子どもとのふれあいを通して，信頼関係を築きながら子ども一人一人の目標達成のための支援を充実します。



設定の根拠 [H21年度アンケート調査結果（4段階評価）及び実績から]

- ・みんなにすすめたい一冊の本推進事業に積極的に取り組んだ→評価3.7
実績 小学生50冊以上達成者 82.3%
（常陸太田市総合計画における目標 H22までに 65%以上）
中学生30冊以上達成者 17.2%
- ・心の教育推進のため総合単元的に取り組んでいる。また，人権感覚や人権意識をはぐくむ活動や指導法の改善及び啓発に努めている。→評価3.2
実績
- ・不登校未然防止や解消のための対策を講じた→評価3.8
実績 不登校出現率0.5%以内を6年連続達成
- ・児童生徒の満足度「学校へ行くのが楽しい」4段階評価Aの割合 57.9%

市教委の見解

- ・みんなにすすめたい一冊の本は市のマニフェストを達成。また，みんないっしょにマナーアップ推進では地域の特色を生かして定着してきている。
- ・人権教育の推進の取組は中学校でケータイ・ネット利用のルールづくりを行った。市子ども人権スローガンや中学校人権宣言の周知と具体的な取組が必要である。
- ・道徳の授業を総合単元的なものとして取り組む学校がほとんどであった。
- ・不登校児童生徒等やいじめ問題についても，各学校で対応して減少傾向にある。

課題

- ・教科，領域を横断した総合単元的な道徳の充実による道徳的実践力の育成
- ・人権感覚や人権意識をはぐくみ，子どもと教師，子ども同士の信頼関係づくり

生きる力の育成

A 確かな学力向上プラン

○ 目標

- ・基礎・基本の確実な習得とそれらの活用を通して、自ら学び自ら考えるなどの確かな学力をはぐくむ。
- ・情操を豊かにし、感性を高め、コミュニケーション能力をはぐくむ。

☆ 本年度のマニフェスト

確かな学力の定着を図り、個性を発揮できる子どもの育成に努めます。

- ・子ども一人一人の学習状況調査を基にしたきめ細かな指導を行います。
学習内容の習熟の程度に応じたTTや少人数指導を行います。
- ・基礎・基本の習得とそれらの活用を図る授業改善に努め、思考力・判断力・表現力等を育成します。
- ・子ども一人一人に学ぶことの楽しさや充実感が味わえる指導方法の工夫を図り、学習意欲の向上と家庭学習の習慣化を推進します。
- ・発達障害等への理解を深め、全職員で取り組む特別支援教育を行います。
- ・学校・家庭・関係機関が連携し、子ども一人一人のニーズに応じた支援を行います。

県学力診断のためのテストで平均正答率5ポイントアップを目指します。

- ・学力向上推進事業における県学力診断のためのテストや全国学力・学習状況調査結果分析を行い、子ども一人一人に焦点をあてた指導法等の工夫・改善を図ります。
- ・未来を拓く常陸太田っ子育成プランを推進し、子ども一人一人の学力向上を図ります。



設定の根拠 [H21年度アンケート調査結果（4段階評価）及び実績から]

- ・児童生徒の実態を根拠として、児童生徒一人一人へのきめ細かな指導・支援（TT及び少人数指導等）を行った。→評価3.8
- ・児童生徒一人一人に対し、学習意欲の喚起と家庭学習の習慣化に向けて努力した。→評価3.7
- 少人数及び習熟度別学習の実施率→小・中学校100%
- ・学力診断のためのテストの分析と指導法の改善に努め、5ポイントアップに向けて努力した→評価3.8
- ・児童生徒の満足度「授業がよく分かる」4段階評価Aの割合 52.0%
- ・国語の学習が好き →小6 61.5% 中3 63.0%
- 算数・数学の学習が好き→小6 66.3% 中3 67.2%
- ・特別支援体制を構築し、一人一人のニーズに応じた支援を行った。→3.7

市教委の見解

- ・きめ細かな教育の手段として、TTや少人数指導が各学校で100%実施されました。各種調査に成果として表れています。今後も児童生徒の実態を多面的に調査し、児童生徒一人一人の把握し、学習意欲の喚起を図りながら学力向上のため取り組んでいきたいと思えます。

課題

- ・TT及び少人数・習熟度別学習の充実と児童生徒の学習意欲の高揚
- ・思考力・判断力・表現力等の育成

H 健やかな体はぐくみプラン

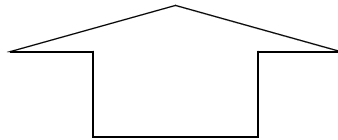
○ 目標

- ・たくましい体と自分にうちかつ心をはぐくむ。
- ・礼儀を重んじ，健康や体力をはぐくむ。

☆ 本年度のマニフェスト

自分にうちかつ心もち，心身共に健やかな子どもを育成します。

- ・体力テストの結果分析を基にして，子ども一人一人にめあてをもたせ，体力の向上を図ります。
- ・児童生徒の体力アップサポート事業に参加し，子どもたちが協力し合いながら運動することを通して，健やかな子どもの育成に努めます。



設定の根拠 [H21 度アンケート調査結果（4段階評価）及び実績から]

- ・「児童生徒の体力アップサポート事業」に児童生徒の実態を基にして，積極的に取り組んでいる→評価3.2
実績 みんなでチャレンジ（スポーツランキング）への小・中学校参加
8の字縄跳び，ダブルダッチ，一輪車スラローム，連続逆上がり，
短縄連続跳び，連続二重跳び，フリースロー
- ・体力テストA+B 全児童生徒の60%以上達成→A+Bの割合 71.5%

市教委の見解

- ・体力テストの市の結果は全国や県の平均を上回っている状況にあります。本年度もみんなでチャレンジ（スポーツランキング）へ参加し，良い成果を得た。しかし，参加校が少なくなっている。学校の実態に応じて，みんなで取り組む特色の一つとして取り組んでいただきたい。

課題

- ・児童生徒一人一人にめあてをもたせた活動の推進
- ・児童生徒が協力し合った活動の推進

魅力ある学校づくり

E 開かれた学校づくりプラン

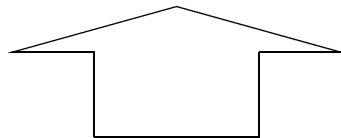
○ 目標

- ・子どもの夢をはぐくむ学校づくりに努める。
- ・教育情報の共有化を図り、地域の教育力を生かした学校づくりに努める。

☆ 本年度のマニフェスト

家庭・地域と一体となって子どもの夢をはぐくむ学校づくりに努めます。

- ・学校評価の結果や学校マニフェストの公表を積極的に行います。
- ・学校や家庭・地域が目標を共有し、子どもたちが学校生活の楽しさを実感できる教育活動に努めます。
- ・市教育委員会ホームページに、教育情報を提供します。
- ・地域の教育力を活用した学習活動を展開します。



設定の根拠 [H21年度アンケート調査結果（4段階評価）及び実績から]

- ・市教育委員会ホームページに教育情報を掲載
- ・地域の教育力を生かした学習活動を展開した→評価3.5
- ・1年間に地域の教育力を生かした学習活動の実施→平均16.4回
- ・学校評価を行い、結果を分析し、教育活動等の改善を図るとともに保護者・地域に対して結果公表をした→評価3.5
実績 学校評価と結果の公表・・・全小・中学校で実施してる。
学校評価を行い、結果及び改善案の公表→評価3.8
- ・児童生徒の満足度「学校へ行くのが楽しい」4段階評価Aの割合 57.9%

市教委の見解

- ・各学校では保護者・地域の教育力（特色）を生かした学習活動を展開しています。また、学校評価の結果及び改善案の公表を積極的に行うようになりました。このようなことから学校は説明責任を果たすように心がけていると言えます。今後は、このよさを継続しながら、児童生徒に学校は楽しいところということを実感させていくことが大切です。

課題

- ・学校評価の啓発と公表の取組
- ・市教委としての教育情報等の提供

T 教職員の資質向上プラン

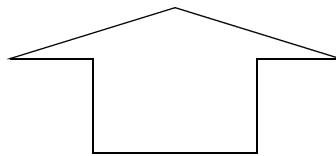
○ 目標

- ・ 広く社会から尊敬され、信頼される質の高い教師の育成に努める。
- ・ ライフステージに応じた教職員研修カリキュラムを作成し、研修の充実に努める。

☆ 本年度のマニフェスト

教師力を高めるため、教育の方向性や学校の課題を踏まえた研修を行います。

- ・ 市教育会と連携して、各種研修講座の開催と充実に努めます。
(教育実践，教科指導法，教科実技研修会，生徒指導研修会，明るい学校づくり研修会等)
- ・ 求める研修の場としての教育研究所研修講座に参加し、授業力の向上に努めます。
参加者 650名以上
- ・ 計画訪問及び要請訪問等での助言指導を充実し、授業力の向上を支援します。
- ・ 研修の効率化を図り、子どもと向き合う時間の確保に努めます。



設定の根拠 [H21年度アンケート調査結果(4段階評価)及び実績から]

- ・ 資質向上のため、各種研修会及び教育研究所等に積極的に参加した→評価3.7
実績 教育研究所研修講座の参加者数が855名
- ・ 教職員の各種研修会への積極的な参加
実績 教育実践研修会 15名参加，県教育論文応募15点 入賞3点
教科・領域指導法及び実技研修会 参加者多数
- ・ 教職員は研修会の成果を生かして授業等を工夫改善しながら，児童生徒のために日々努力した→評価3.6
- ・ 市教育委員会は各種研修会・教育研究所を開催し，教職員の資質向上のための努力をした→評価4.0

市教委の見解

- ・ 各学校教職員の方の協力により，教育研究所研修講座は充実したものになりました。今後も本研究所の趣旨を啓発し，求める研修の実現に努力していきます。また，中堅や若手の教職員が積極的に参加できるように企画していきます。さらに，教育会と協力しながら，研修会を開催したり，研修会の統合をしたりして，業務の軽量化を推進し，児童生徒と向き合う時間の確保に努めてまいります。

課題

- ・ 少人数・習熟の程度に応じた指導法研修会の開催
- ・ 改訂学習指導要領の周知と趣旨を生かした授業づくり